

りそなブラジル株式ファンド (愛称：リオ)

運用報告書(全体版)

第22期（決算日2019年6月19日）

作成対象期間（2018年12月20日～2019年6月19日）

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り、厚く御礼申し上げます。
当作成対象期間の運用状況等についてご報告申し上げます。
今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

●当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／株式	
信託期間	2008年8月8日以降、無期限とします。	
運用方針	ノムラブラジル株式マザーファンド（以下「マザーファンド」といいます。）受益証券への投資を通じて、主としてブラジルの企業の株式（DR（預託証券）を含みます。）に投資し、信託財産の成長をはかることを目的として積極的な運用を行います。実質組入外貨建て資産については、原則として為替ヘッジを行いません。	
主な投資対象	りそなブラジル株式ファンド	マザーファンド受益証券を主要投資対象とします。なお、株式等に直接投資する場合があります。
	マザーファンド	ブラジルの企業の株式を主要投資対象とします。
主な投資制限	りそなブラジル株式ファンド	株式への実質投資割合には制限を設けません。外貨建て資産への実質投資割合には制限を設けません。
	マザーファンド	株式への投資割合には制限を設けません。外貨建て資産への投資割合には制限を設けません。
分配方針	毎決算時に、原則として経費控除後の配当等収益と売買益等から、配当等収益等の水準および基準価額水準等を勘案して分配します。留保益の運用については、特に制限を設けず、元本部分と同一の運用を行います。	

野村アセットマネジメント

東京都中央区日本橋1-12-1



サポートダイヤル 0120-753104
〈受付時間〉営業日の午前9時～午後5時

ホームページ <http://www.nomura-am.co.jp/>

○最近5期の運用実績

決算期	基準価額			参考指数		株式組入比率	株式先物比率	純資産額
	(分配落)	税込分配金	期中騰落率	期中騰落	期中率			
	円	円	%		%	%	%	百万円
18期(2017年6月19日)	7,273	20	1.8	77.34	3.5	91.6	—	911
19期(2017年12月19日)	8,484	20	16.9	91.55	18.4	95.1	—	490
20期(2018年6月19日)	7,666	20	△9.4	75.60	△17.4	89.3	—	363
21期(2018年12月19日)	9,208	20	20.4	91.60	21.2	92.2	—	410
22期(2019年6月19日)	9,907	20	7.8	103.36	12.8	93.8	—	363

* 基準価額の騰落率は分配金込み。

* 株式組入比率には、新株予約権証券を含みます。

* 当ファンドはマザーファンドを組み入れますので、「株式組入比率」、「株式先物比率」は実質比率を記載しております。

* 株式先物比率は買い建て比率-売り建て比率。

* 参考指数 (=MSCIブラジル10/40インデックス (円換算ベース)) は、MSCIブラジル10/40インデックス (配当込み・ブラジルリアルベース) をもとに、当社が独自に円換算したものです。算出にあたっては、基準価額への反映を考慮して、営業日前日の指数値を営業日当日の対顧客電信売買相場値で円換算しております。なお、設定時を100として指数化しています。

* MSCIブラジル10/40インデックス (配当込み・ブラジルリアルベース) は、MSCIが開発した指数です。同指数に対する著作権、知的所有権その他一切の権利はMSCIに帰属します。またMSCIは、同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。(出所: MSCI、ブルームバーグ)

○当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準価額		参考指数		株式組入比率	株式先物比率
	騰落率	騰落率	騰落率	騰落率		
(期首)	円	%		%	%	%
2018年12月19日	9,208	—	91.60	—	92.2	—
12月末	9,091	△1.3	89.99	△1.8	92.6	—
2019年1月末	10,384	12.8	106.23	16.0	91.0	—
2月末	10,391	12.8	106.89	16.7	92.7	—
3月末	9,585	4.1	98.77	7.8	95.5	—
4月末	9,650	4.8	100.61	9.8	92.1	—
5月末	9,503	3.2	99.09	8.2	92.1	—
(期末)						
2019年6月19日	9,927	7.8	103.36	12.8	93.8	—

* 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比です。

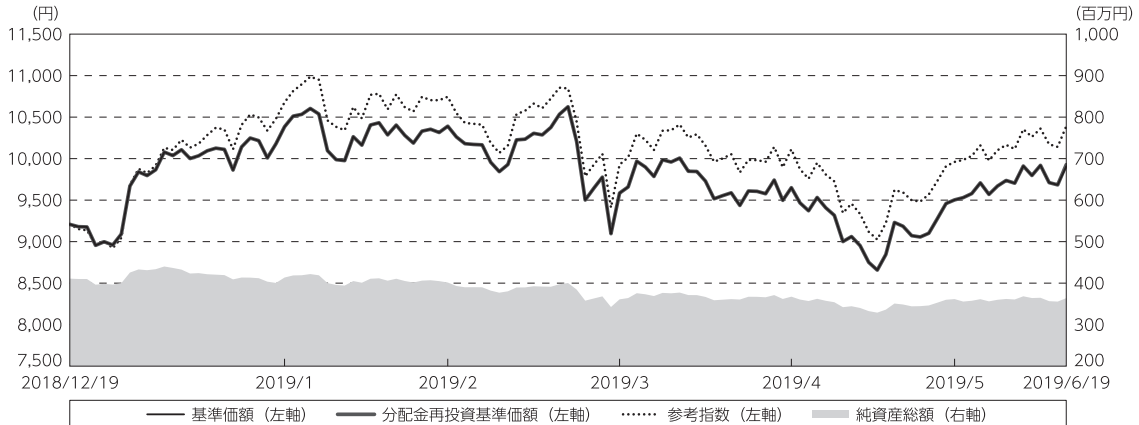
* 株式組入比率には、新株予約権証券を含みます。

* 当ファンドはマザーファンドを組み入れますので、「株式組入比率」、「株式先物比率」は実質比率を記載しております。

* 株式先物比率は買い建て比率-売り建て比率。

◎運用経過

○期中の基準価額等の推移



期 首：9,208円

期 末：9,907円 (既払分配金(税込み)：20円)

騰落率：7.8% (分配金再投資ベース)

- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。作成期首(2018年12月19日)の値が基準価額と同一となるように指数化しております。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、個々のお客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注) 参考指数は、MSCIブラジル10/40インデックス(円換算ベース)です。参考指数は、作成期首(2018年12月19日)の値が基準価額と同一となるように計算しております。
- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

○基準価額の主な変動要因

基準価額は、期首9,208円から期末9,907円となりました。

- (上昇) 2019年1月に、ボルソナロ新大統領の就任によって、年金制度改革や国営企業民営化などへの期待が高まったことで株式市場が上昇したこと。その後も、ゲデス経済相が年金制度改革への取り組みを示唆したことや、米中貿易協議の進展への期待感などで株式市場が続伸したこと。為替市場で、通貨レアルが対円で上昇(円安)したこと。
- (下落) 3月に、ブラジルの2019年実質GDP(国内総生産)成長率見通しが下方修正されたことや、テメル前大統領が原子力発電所の建設をめぐる収賄容疑で逮捕され、年金改革に対する先行き不透明感が高まったことで、株式市場が下落したこと。テメル前大統領の逮捕や、トルコ・リラの急落で投資家のリスク回避姿勢が強まったことなどから、通貨レアルが対円で下落(円高)したこと。
- (上昇) 4月に、年金改革法案が下院のCCJC(憲法・司法・市民権委員会)で可決され、年金制度改革への期待が高まったことなどをを受けて、株式市場が上昇したこと。

(下落) 5月に、米利下げ観測の後退や、ブラジルの2019年経済成長率見通しの引き下げ、ボルソナロ政権による教育予算削減に対する抗議運動の勃発などにより、為替市場で通貨レアルが対円で下落(円高)した事。

○投資環境

ブラジル株式市場は、年金制度改革や米中貿易摩擦の動向などの影響を受けた中、期を通じては上昇となりました。

為替市場では年金制度改革の動向に加え、新興国通貨の急落などの影響を受け、期を通じてレアルは対円で下落(円高)となりました。

○当ファンドのポートフォリオ

[りそなブラジル株式ファンド]

主要投資対象である[ノムラブラジル株式マザーファンド] 受益証券を高位に組み入れました。

・株式組入比率

実質株式組入比率は、期を通じておおむね高位を維持しました。

・為替ヘッジ

実質外貨建て資産につきましては、為替ヘッジを行いませんでした。

[ノムラブラジル株式マザーファンド]

・株式組入比率

株式組入比率は、期を通じて高位を維持しました。

・期中の主な動き

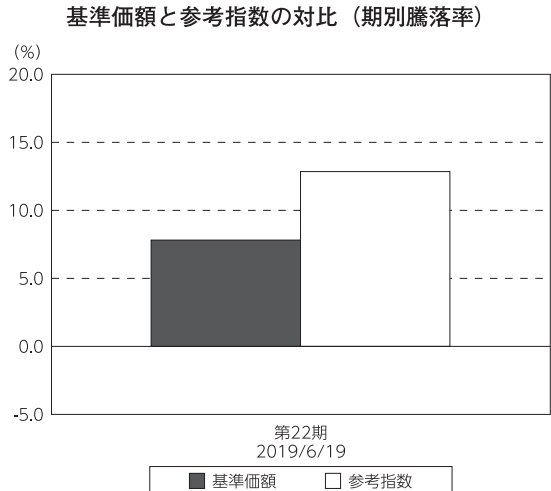
- (1) 株式への投資にあたっては、定量的なスクリーニングに従ってランキングされた銘柄群から、投資先候補企業への綿密な調査に基づいたファンダメンタルズ(基礎的条件)分析により投資銘柄を選別しました。
- (2) セクター分散等を考慮した上で、定量モデルにより最適化を行い、ポートフォリオを構築しました。
- (3) 個別銘柄では、期末時点で、ITAUSA-INVESTIMENTOS ITAU-PR(銀行)、PETROBRAS-PETROLEO BRASILEIRO-PR(石油・ガス・消耗燃料)、VALE SA(金属・鉱業)などを組入上位銘柄としました。
- (4) 為替につきましては、ヘッジを行いませんでした。

○当ファンドのベンチマークとの差異

当ファンドは運用の目標となるベンチマークを設けておりません。

コメント・グラフは、基準価額と参考指数の騰落率の対比です。

参考指数が12.8%上昇したのに対し、基準価額は7.8%の上昇となりました。資本財セクターや一般消費財・サービスセクターにおける銘柄選択効果がマイナスに影響しました。



(注) 基準価額の騰落率は分配金込みです。

(注) 参考指数は、MSCI ブラジル10/40 インデックス（円換算ベース）です。

◎分配金

収益分配金につきましては、基準価額水準等を勘案し、配当等収益等から1万口当たり20円とさせていただきます。なお、留保益の運用につきましては、特に制限を設けず、元本部分と同一の運用を行います。

○分配原資の内訳

(単位：円、1万口当たり・税込み)

項 目	第22期
	2018年12月20日～ 2019年6月19日
当期分配金	20
(対基準価額比率)	0.201%
当期の収益	20
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	3,082

(注) 対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

◎今後の運用方針

[ノムラブラジル株式マザーファンド]

ブラジルでは、年金改革法案の成立に向けた今後の進展が期待されます。また、ブラジル中央銀行は6月に開催された金融政策決定会合において、10会合連続となる政策金利の据え置きを決定しましたが、今後金利据え置き姿勢を維持するかどうか注目されます。当ファンドでは、ボルソナロ大統領の動向に加え、ブラジル中央銀行の金融政策などのブラジル国内の動向、米国の金融政策や政治動向、商品市況などを注視して運用を行います。

銘柄選択は、

- ① 予想収益、成長性、予想配当利回り、リスク／流動性調整後のバリュエーション（投資価値評価）等の観点から定量的スクリーニングに従ってランキングし、自動的に投資基準を満たさない銘柄を投資ユニバース（母集団）から除外します。
- ② 多数の基準に従って銘柄を選考した後、更なる追加的なアルファ（超過収益）の投資機会を得るため、マクロ経済シナリオ、セクタートレンド、配当政策、コーポレートガバナンス（企業統治）等の観点から分析します。
- ③ サイズ、セクター分散等を考慮した上で、定量モデルによる最適化を行います。
株式組入比率は、原則として高位を基本とします。なお、現地市場が休場の場合や市況動向等によっては、一時的に株式組入比率を引き下げることがあります。

[りそなブラジル株式ファンド]

主要投資対象である[ノムラブラジル株式マザーファンド] 受益証券を高位に組み入れ、実質外貨建て資産につきましては為替ヘッジを行わない方針です。

今後とも引き続きご愛顧賜りますよう、よろしくお願いいたします。

○ 1 万口当たりの費用明細

(2018年12月20日～2019年6月19日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	99	1.012	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率
（ 投 信 会 社 ）	(47)	(0.485)	ファンドの運用とそれに伴う調査、受託会社への指図、法定書面等の作成、基準価額の算出等
（ 販 売 会 社 ）	(47)	(0.485)	購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理および事務手続き等
（ 受 託 会 社 ）	(4)	(0.043)	ファンドの財産の保管・管理、委託会社からの指図の実行等
(b) 売 買 委 託 手 数 料	2	0.022	(b) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 ※売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
（ 株 式 ）	(2)	(0.022)	
(c) 有 価 証 券 取 引 税	1	0.009	(c) 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 ※有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
（ 株 式 ）	(1)	(0.009)	
(d) そ の 他 費 用	46	0.470	(d) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
（ 保 管 費 用 ）	(45)	(0.464)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
（ 監 査 費 用 ）	(0)	(0.002)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
（ そ の 他 ）	(0)	(0.005)	信託事務の処理に要するその他の諸費用
合 計	148	1.513	
期中の平均基準価額は、9,767円です。			

* 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

* 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

* 売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

* 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

○売買及び取引の状況

(2018年12月20日～2019年6月19日)

親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘 柄	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
ノムラブラジル株式マザーファンド	千口 10,900	千円 15,255	千口 69,203	千円 97,584

*単位未満は切り捨て。

○株式売買比率

(2018年12月20日～2019年6月19日)

株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

項 目	当 期	
	ノムラブラジル株式マザーファンド	
(a) 期中の株式売買金額	116,439千円	
(b) 期中の平均組入株式時価総額	391,788千円	
(c) 売買高比率 (a) / (b)	0.29	

* (b) は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

○利害関係人との取引状況等

(2018年12月20日～2019年6月19日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○組入資産の明細

(2019年6月19日現在)

親投資信託残高

銘 柄	期首(前期末)	当 期 末	
	口 数	口 数	評 価 額
ノムラブラジル株式マザーファンド	千口 313,713	千口 255,409	千円 362,528

*口数・評価額の単位未満は切り捨て。

親投資信託における組入資産の明細につきましては、後述の親投資信託の「運用報告書」をご参照ください。

○投資信託財産の構成

(2019年6月19日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
ノムラブラジル株式マザーファンド	362,528	98.2
コール・ローン等、その他	6,561	1.8
投資信託財産総額	369,089	100.0

*金額の単位未満は切り捨て。

*ノムラブラジル株式マザーファンドにおいて、当期末における外貨建て純資産(410,704千円)の投資信託財産総額(420,577千円)に対する比率は97.7%です。

*外貨建て資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。1米ドル=108.52円、1リアル=28.11円。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2019年6月19日現在)

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	369,089,975
コール・ローン等	3,979,100
ノムラブラジル株式マザーファンド(評価額)	362,528,875
未収入金	2,582,000
(B) 負債	5,213,329
未払収益分配金	734,567
未払解約金	580,575
未払信託報酬	3,892,026
未払利息	7
その他未払費用	6,154
(C) 純資産総額(A-B)	363,876,646
元本	367,283,654
次期繰越損益金	△ 3,407,008
(D) 受益権総口数	367,283,654口
1万口当たり基準価額(C/D)	9,907円

(注) 期首元本額は446,168,936円、期中追加設定元本額は16,706,202円、期中一部解約元本額は95,591,484円、1口当たり純資産額は0.9907円です。

(注) 投資信託財産の運用の指図に係わる権限の全部又は一部を委託する為に要する費用、支払金額1,159,048円。(ノムラブラジル株式マザーファンド)

○損益の状況 (2018年12月20日～2019年6月19日)

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	△ 764
支払利息	△ 764
(B) 有価証券売買損益	29,356,778
売買益	36,002,392
売買損	△ 6,645,614
(C) 信託報酬等	△ 3,898,180
(D) 当期損益金(A+B+C)	25,457,834
(E) 前期繰越損益金	37,072,455
(F) 追加信託差損益金	△ 65,202,730
(配当等相当額)	(51,373,487)
(売買損益相当額)	(△116,576,211)
(G) 計(D+E+F)	△ 2,672,441
(H) 収益分配金	△ 734,567
次期繰越損益金(G+H)	△ 3,407,008
追加信託差損益金	△ 65,202,730
(配当等相当額)	(51,425,769)
(売買損益相当額)	(△116,628,499)
分配準備積立金	61,795,722

*損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

*損益の状況の中で(C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

*損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) 分配金の計算過程 (2018年12月20日～2019年6月19日) は以下の通りです。

項 目	当 期
	2018年12月20日～ 2019年6月19日
a. 配当等収益(経費控除後)	6,610,601円
b. 有価証券売買等損益(経費控除後・繰越欠損金補填後)	18,847,233円
c. 信託約款に定める収益調整金	51,425,769円
d. 信託約款に定める分配準備積立金	37,072,455円
e. 分配対象収益(a+b+c+d)	113,956,058円
f. 分配対象収益(1万口当たり)	3,102円
g. 分配金	734,567円
h. 分配金(1万口当たり)	20円

○分配金のお知らせ

1万口当たり分配金(税込み)	20円
----------------	-----

※分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または上回る場合、分配金は全額普通分配金となります。

※分配前の基準価額が個別元本を上回り、分配後の基準価額が個別元本を下回る場合、分配金は個別元本を上回る部分が普通分配金、下回る部分が元本払戻金(特別分配金)となります。

※分配前の基準価額が個別元本と同額または下回る場合、分配金は全額元本払戻金(特別分配金)となります。

○お知らせ

該当事項はございません。

ノムラブラジル株式マザーファンド

運用報告書

第11期（決算日2019年6月19日）

作成対象期間（2018年6月20日～2019年6月19日）

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り、厚く御礼申し上げます。
当作成対象期間の運用状況等についてご報告申し上げます。
今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

●当ファンドの仕組みは次の通りです。

運用方針	ブラジルの企業の株式（DR（預託証券）を含みます。）を主要投資対象とし、信託財産の成長をはかることを目的として積極的な運用を行うことを基本とします。 株式への投資にあたっては、定量的なスクリーニングに従ってランキングされた銘柄群から、投資先候補企業への綿密な調査に基づいたファンダメンタルズ分析により投資銘柄を選別します。ポートフォリオ構築にあたっては、セクター分散等を考慮した上で、定量モデルにより最適化を行います。外貨建て資産については、原則として為替ヘッジを行いません。
主な投資対象	ブラジルの企業の株式を主要投資対象とします。
主な投資制限	株式への投資割合には制限を設けません。 外貨建て資産への投資割合には制限を設けません。

野村アセットマネジメント

東京都中央区日本橋1-12-1

<http://www.nomura-am.co.jp/>

○最近5期の運用実績

決算期	基準価額		参考指数		株式組入比率	株式先物比率	純資産額
	円	騰落率	80.61	騰落率			
7期(2015年6月19日)	9,304	△13.8	80.61	△11.7	92.2	—	784
8期(2016年6月20日)	6,812	△26.8	57.48	△28.7	95.7	—	550
9期(2017年6月19日)	9,767	43.4	77.34	34.6	91.9	—	925
10期(2018年6月19日)	10,554	8.1	75.60	△2.3	89.8	—	399
11期(2019年6月19日)	14,194	34.5	103.36	36.7	94.1	—	415

*株式組入比率には、新株予約権証券を含みます。

*株式先物比率は買い建て比率-売り建て比率。

*参考指数(=MSCIブラジル10/40インデックス(円換算ベース))は、MSCIブラジル10/40インデックス(配当込み・ブラジルリアルベース)をもとに、当社が独自に円換算したものです。算出にあたっては、基準価額への反映を考慮して、営業日前日の指数値を営業日当日の対顧客電信売買相場仲値で円換算しております。なお、設定時を100として指数化しています。
 *MSCIブラジル10/40インデックス(配当込み・ブラジルリアルベース)は、MSCIが開発した指数です。同指数に対する著作権、知的所有権その他一切の権利はMSCIに帰属します。またMSCIは、同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。
 (出所:MSCI、ブルームバーグ)

○当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準価額		参考指数		株式組入比率	株式先物比率
	円	騰落率	75.60	騰落率		
(期首) 2018年6月19日	10,554	—	75.60	—	89.8	—
6月末	10,594	0.4	75.34	△0.3	91.0	—
7月末	12,163	15.2	86.87	14.9	91.9	—
8月末	10,425	△1.2	74.93	△0.9	94.1	—
9月末	11,397	8.0	82.49	9.1	94.0	—
10月末	13,624	29.1	96.78	28.0	94.2	—
11月末	13,575	28.6	96.57	27.7	94.9	—
12月末	12,866	21.9	89.99	19.0	92.9	—
2019年1月末	14,734	39.6	106.23	40.5	91.3	—
2月末	14,768	39.9	106.89	41.4	92.9	—
3月末	13,642	29.3	98.77	30.6	95.7	—
4月末	13,754	30.3	100.61	33.1	92.2	—
5月末	13,570	28.6	99.09	31.1	92.1	—
(期末) 2019年6月19日	14,194	34.5	103.36	36.7	94.1	—

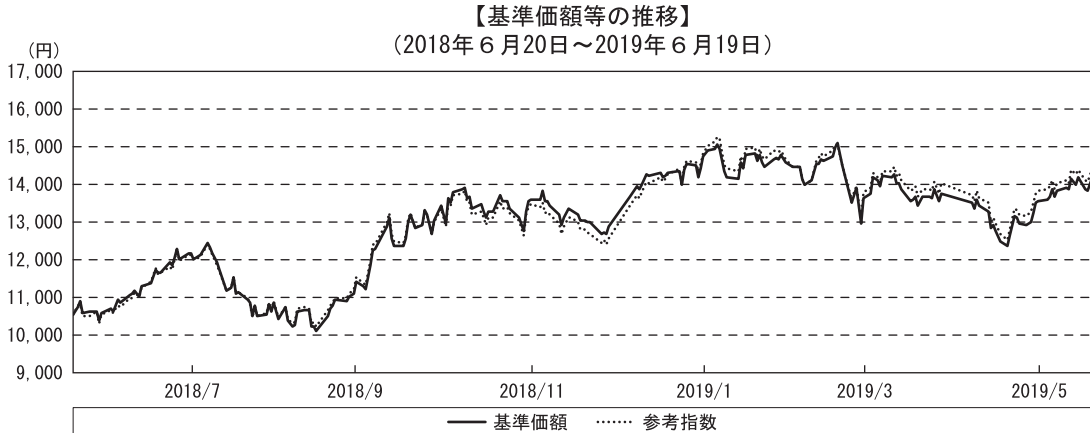
*騰落率は期首比です。

*株式組入比率には、新株予約権証券を含みます。

*株式先物比率は買い建て比率-売り建て比率。

◎運用経過

○期中の基準価額等の推移



(注) 参考指数は、MSCIブラジル10/40インデックス（円換算ベース）です。作成期首の値が基準価額と同一となるように計算しております。

○基準価額の主な変動要因

基準価額は、期首の10,554円から期末14,194円となりました。

- (上昇) 2018年7月、米中貿易摩擦懸念が後退したことや、中国の石油会社がブラジルの石油・ガス生産会社のプロジェクトを資金支援するとの報道があったこと、ブラジルの5月小売売上高が市場予想ほど落ち込まなかったことや、中国が内需拡大に向けた政策を打ち出したことなどから株式市場が上昇したこと。
- (下落) 8月、トルコ・リラやアルゼンチン・ペソの急落により投資家のリスク回避姿勢が強まったことや、10月のブラジル大統領選挙に対する先行き不透明感が高まったことなどから株式市場が下落したこと。為替市場で、通貨レアルが対円で下落（円高）したこと。
- (上昇) 9月、ブラジル大統領選挙に関する世論調査において構造改革に前向きな社会自由党（PSL）のボルソナロ候補者がリードを広げたことが好感されたことや、ブラジル中央銀行が発表した7月の経済活動指数が市場予想を上回る伸びとなったことから株式市場が上昇したこと。為替市場で、通貨レアルが対円で上昇（円安）したこと。

- (上昇) 10月、ボルソナロ氏がブラジル大統領選挙の第1回投票において首位で決選投票に進んだことが好感されたことや、決選投票で同氏が当選したことで今後の経済改革への取り組みに対する期待が高まったことから株式市場が上昇した。為替市場で、通貨レアルが対円で上昇(円安)した。
- (下落) 12月、FOMC(米連邦公開市場委員会)において米国の利上げペースが市場予想ほど鈍化しないとの観測が高まったことや、ブラジルの2019年実質GDP(国内総生産)成長率見通しが下方修正されたことなどを受けて株式市場が下落した。為替市場で、通貨レアルが対円で下落(円高)した。
- (上昇) 2019年1月、ボルソナロ新大統領の就任によって、年金制度改革や国営企業民営化などへの期待が高まったことで株式市場が上昇した。その後も、ゲデス経済相が年金制度改革への取り組みを示唆したことや、米中貿易協議の進展への期待感などで株式市場が続伸した。為替市場で、通貨レアルが対円で上昇(円安)した。
- (下落) 3月、ブラジルの2019年実質GDP成長率見通しが下方修正されたことや、テメル前大統領が原子力発電所の建設をめぐる収賄容疑で逮捕され、年金改革に対する先行き不透明感が高まったことで、株式市場が下落した。テメル前大統領の逮捕や、トルコ・リラの急落で投資家のリスク回避姿勢が強まったことなどから、通貨レアルが対円で下落(円高)した。
- (上昇) 4月、年金改革法案が下院のCCJC(憲法・司法・市民権委員会)で可決され、年金制度改革への期待が高まったことなどを受けて、株式市場が上昇した。
- (下落) 5月、米利下げ観測の後退や、ブラジルの2019年経済成長率見通しの引き下げ、ボルソナロ政権による教育予算削減に対する抗議運動の勃発などにより、為替市場で通貨レアルが対円で下落(円高)した。

○投資環境

ブラジル株式市場は、年金制度改革や大統領選挙といった国内の動向に加え、米中貿易摩擦の動向など外部環境の影響を受けた中、期を通じては上昇となりました。

為替市場では年金制度改革や大統領選挙の動向に加え、新興国通貨の急落などの影響を受け、期を通じてレアルは対円で下落(円高)となりました。

○当ファンドのポートフォリオ

・株式組入比率

株式組入比率は、期を通じて高位を維持しました。

・期中の主な動き

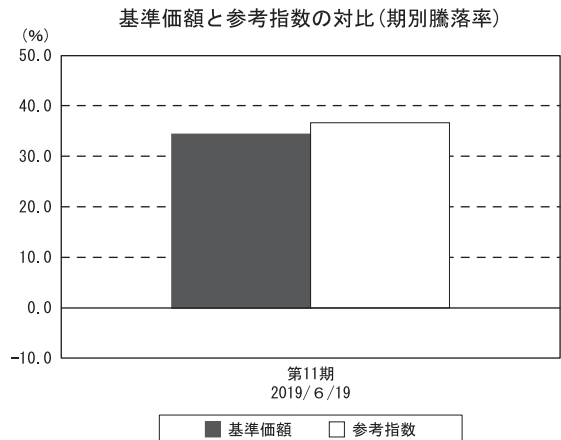
- (1) 株式への投資にあたっては、定量的なスクリーニングに従ってランキングされた銘柄群から、投資先候補企業への綿密な調査に基づいたファンダメンタルズ（基礎的条件）分析により投資銘柄を選別しました。
- (2) セクター分散等を考慮した上で、定量モデルにより最適化を行い、ポートフォリオを構築しました。
- (3) 個別銘柄では、期末時点で、ITAUSA-INVESTIMENTOS ITAU-PR（銀行）、PETROBRAS-PETROLEO BRASILEIRO-PR（石油・ガス・消耗燃料）、VALE SA（金属・鉱業）などを組入上位銘柄としました。
- (4) 為替につきましては、ヘッジを行いませんでした。

○当ファンドのベンチマークとの差異

当ファンドは運用の目標となるベンチマークを設けておりません。

コメント・グラフは、基準価額と参考指数の騰落率の対比です。

参考指数が36.7%上昇したのに対し、基準価額は34.5%の上昇となりました。業種配分において、アンダーウェイト（参考指数と比べ低めの投資比率）していた金融セクターの株価騰落率が参考指数を上回ったことや、資本財・サービスセクターなどにおける銘柄選択効果がマイナスに影響したことなどが主な差異要因となりました。



(注) 参考指数は、MSCIブラジル10/40インデックス（円換算ベース）です。

◎今後の運用方針

ブラジルでは、年金改革法案の成立に向けた今後の進展が期待されます。また、ブラジル中央銀行は6月に開催された金融政策決定会合において、10会合連続となる政策金利の据え置きを決定しましたが、今後金利据え置き姿勢を維持するかが注目されます。当ファンドでは、ボルソナロ大統領の動向に加え、ブラジル中央銀行の金融政策などのブラジル国内の動向、米国の金融政策や政治動向、商品市況などを注視して運用を行います。

銘柄選択は、

- ①予想収益、成長性、予想配当利回り、リスク／流動性調整後のバリュエーション（投資価値評価）等の観点から定量的スクリーニングに従ってランキングし、自動的に投資基準を満たさない銘柄を投資ユニバース（母集団）から除外します。
- ②多数の基準に従って銘柄を選考した後、更なる追加的なアルファ（超過収益）の投資機会を得るため、マクロ経済シナリオ、セクタートレンド、配当政策、コーポレートガバナンス（企業統治）等の観点から分析します。
- ③サイズ、セクター分散等を考慮した上で、定量モデルによる最適化を行います。株式組入比率は、原則として高位を基本とします。なお、現地市場が休場の場合や市況動向等によっては、一時的に株式組入比率を引き下げることがあります。

○ 1 万口当たりの費用明細

(2018年6月20日～2019年6月19日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 売 買 委 託 手 数 料 (株 式)	円 23 (23)	% 0.177 (0.177)	(a) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 ※売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(b) 有 価 証 券 取 引 税 (株 式)	8 (8)	0.063 (0.063)	(b) 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 ※有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(c) そ の 他 費 用 (保 管 費 用) (そ の 他)	111 (109) (1)	0.856 (0.842) (0.014)	(c) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用 信託事務の処理に要するその他の諸費用
合 計	142	1.096	
期中の平均基準価額は、12,926円です。			

*各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

*各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

○ 売 買 及 び 取 引 の 状 況

(2018年6月20日～2019年6月19日)

株式

		買 付		売 付	
		株 数	金 額	株 数	金 額
外	アメリカ	百株	千米ドル	百株	千米ドル
		— (20)	— (—)	16	21
国	ブラジル	10,005 (117)	千レアル 16,375 (18)	11,695	千レアル 20,414

*金額は受け渡し代金。

*単位未満は切り捨て。

*()内は株式分割、予約権行使、合併等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

新株予約権証券

		買 付		売 付	
		証 券 数	金 額	証 券 数	金 額
外 国	ブラジル	証券 —	千リアル —	証券 — (861)	千リアル — (7)

*金額は受け渡し代金。

*単位未満は切り捨て。

*()内は権利割当、権利行使および権利行使期間満了などによる増減分です。

○株式売買比率

(2018年6月20日～2019年6月19日)

株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

項 目	当 期
(a) 期中の株式売買金額	1,082,141千円
(b) 期中の平均組入株式時価総額	518,822千円
(c) 売買高比率 (a) / (b)	2.08

* (b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

○利害関係人との取引状況等

(2018年6月20日～2019年6月19日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○組入資産の明細

(2019年6月19日現在)

外国株式

銘 柄	期首(前期末)	当 期 末		業 種 等		
		株 数	株 数		評 価 額	
				外貨建金額	邦貨換算金額	
(アメリカ)	百株	百株	千米ドル	千円		
BANCO BRADESCO-SPONSORED ADR	22	27	25	2,740	銀行	
CIA PARANAENSE ENER-SP ADR P	116	116	143	15,609	電力	
GERDAU SA -SPON ADR	126	126	47	5,147	金属・鉱業	
PETROLEO BRASILEIRO-SPON ADR	16	—	—	—	石油・ガス・消耗燃料	
TELEFONICA BRASIL-ADR	10	10	13	1,432	各種電気通信サービス	
ULTRAPAR PARTICIPAC- SPON ADR	16	32	17	1,922	石油・ガス・消耗燃料	
小 計	株 数 ・ 金 額	307	311	247	26,853	
	銘 柄 数 < 比 率 >	6	5	—	< 6.5% >	

銘柄	期首(前期末)		当 期 末		業 種 等	
	株 数	株 数	評 価 額			
			外貨建金額	邦貨換算金額		
(ブラジル)	百株	百株	千レアル	千円		
CYRELA BRAZIL REALTY	—	96	186	5,250	家庭用耐久財	
VALE SA	227	172	897	25,223	金属・鉱業	
CIA PARANAENSE DE ENERGI-PFB	11	3	14	401	電力	
BANCO DO BRASIL SA	122	96	497	13,984	銀行	
USINAS SIDER MINAS GER-PF A	505	413	363	10,213	金属・鉱業	
ITAUSA-INVESTIMENTOS ITAU-PR	1,042	836	1,020	28,675	銀行	
LOJAS AMERICANAS SA	229	242	313	8,805	複合小売り	
MARCOPOLO SA-PREF	21	—	—	—	機械	
GERDAU SA PFD NPV	285	52	77	2,174	金属・鉱業	
METALURGICA GERDAU SA-PREF	1,314	855	597	16,807	金属・鉱業	
PETROBRAS - PETROLEO BRAS	—	102	313	8,804	石油・ガス・消耗燃料	
PETROBRAS DISTRIBUIDORA SA	164	175	434	12,219	専門小売り	
PETROBRAS-PETROLEO BRAS-PR	583	333	915	25,741	石油・ガス・消耗燃料	
SANTOS BRASIL PARTICIPACOES	719	580	254	7,164	運送インフラ	
CCR SA	128	180	252	7,086	運送インフラ	
TUPY SA	48	41	82	2,327	自動車部品	
BANCO BRADESCO SA - PREF	182	167	609	17,140	銀行	
BRADESPAR SA -PREF	—	50	165	4,659	金属・鉱業	
CPFL ENERGIA SA	—	43	130	3,663	電力	
ITAU UNIBANCO HOLDING SA-PREF	118	142	495	13,931	銀行	
IOCHPE-MAXION SA	56	54	113	3,194	機械	
EDP - ENERGIAS DO BRASIL SA	222	180	334	9,392	電力	
ULTRAPAR PARTICIPACOES	9	—	—	—	石油・ガス・消耗燃料	
COSAN SA	18	—	—	—	石油・ガス・消耗燃料	
LIGHT SA	52	41	83	2,354	電力	
EMBRAER SA	185	339	635	17,857	航空宇宙・防衛	
CIA ENERGETICA DE SP-PREF B	245	158	428	12,044	独立系発電事業者・エネルギー販売業者	
B2W CIA DIGITAL	261	174	580	16,327	インターネット販売・通信販売	
BR MALLS PARTICIPACOES SA	135	158	223	6,278	不動産管理・開発	
MARFRIG GLOBAL FOODS SA	411	302	200	5,625	食品	
TELEFONICA BRASIL-PREF	74	59	298	8,394	各種電気通信サービス	
CIA BRASILEIRA DE DISTR-PREF	60	48	418	11,763	食品・生活必需品小売り	
ENGIE BRASIL SA	38	8	36	1,020	独立系発電事業者・エネルギー販売業者	
AZUL SA	—	45	203	5,723	旅客航空輸送業	
HAPVIDA PARTICIPACOES E INVESTIMENTOS	27	92	351	9,877	ヘルスケア・プロバイダー/ヘルスケア・サービス	
ATACADAO DISTRIBUICAO COMERC	389	306	697	19,596	食品・生活必需品小売り	
B3 SA-BRASIL BOLSA BALCAO	200	161	614	17,260	資本市場	
AMBEV SA	176	—	—	—	飲料	
AES TIETE ENERGIA SA-UNIT	103	85	100	2,822	独立系発電事業者・エネルギー販売業者	
小 計	株 数	金 額	8,375	6,803	12,942	363,810
銘 柄 数 < 比 率 >	34	35	—	< 87.7% >		
合 計	株 数	金 額	8,682	7,115	—	390,664
銘 柄 数 < 比 率 >	40	40	—	< 94.1% >		

* 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

* 邦貨換算金額欄の〈 〉内は、純資産総額に対する各国別株式評価額の比率。

* 株数・評価額の単位未満は切り捨て。

* 銘柄コード等の変更があった銘柄は、別銘柄として掲載しております。

外国新株予約権証券

2019年6月19日現在の組入れはございません。

銘	柄	期首(前期末)	
		証	券 数
(ブラジル)			証券
IOCHPE-MAXION S.A. CW-19			861
合	計	証	券 数
		銘	柄 数
			861
			1

○投資信託財産の構成

(2019年6月19日現在)

項	目	当 期 末	
		評 価 額	比 率
		千円	%
株式		390,664	92.9
コール・ローン等、その他		29,913	7.1
投資信託財産総額		420,577	100.0

*金額の単位未満は切り捨て。

*当期末における外貨建て純資産（410,704千円）の投資信託財産総額（420,577千円）に対する比率は97.7%です。

*外貨建て資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。1米ドル=108.52円、1リアル=28.11円。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2019年6月19日現在)

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	420,577,825
コール・ローン等	26,799,534
株式(評価額)	390,664,432
未収配当金	3,113,859
(B) 負債	5,553,018
未払解約金	5,553,000
未払利息	18
(C) 純資産総額(A-B)	415,024,807
元本	292,402,028
次期繰越損益金	122,622,779
(D) 受益権総口数	292,402,028口
1万口当たり基準価額(C/D)	14,194円

(注) 期首元本額は378,637,491円、期中追加設定元本額は423,724,263円、期中一部解約元本額は509,959,726円、1口当たり純資産額は1,4194円です。

(注) 当マザーファンドを投資対象とする投資信託の当期末元本額
 ・リソナブラジル株式ファンド 255,409,945円
 ・グローイング・ブラジル株式ファンド 36,992,083円

○損益の状況 (2018年6月20日～2019年6月19日)

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	18,041,766
受取配当金	17,867,986
受取利息	80,598
その他収益金	103,929
支払利息	△ 10,747
(B) 有価証券売買損益	167,942,424
売買益	194,995,371
売買損	△ 27,052,947
(C) 保管費用等	△ 4,897,699
(D) 当期損益金(A+B+C)	181,086,491
(E) 前期繰越損益金	20,993,539
(F) 追加信託差損益金	81,765,023
(G) 解約差損益金	△161,222,274
(H) 計(D+E+F+G)	122,622,779
次期繰越損益金(H)	122,622,779

* 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

* 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

* 損益の状況の中で(G)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

○お知らせ

該当事項はございません。

<お申し込み時の留意点>

販売会社の営業日であってもお申し込みの受付ができない日（以下「申込不可日」といいます。）があります。

お申し込みの際には、これらの申込不可日に該当する日をご確認のうえ、お申し込みいただきますようよろしくお願いいたします。

(2019年6月19日現在)

年 月	日
2019年6月	20
7月	4、9
8月	－
9月	2
10月	－
11月	11、15、20、28
12月	24、25

※2019年12月までに該当する「申込不可日」を現時点で認識している情報をもとに作成しておりますが、諸事情等により突然変更される場合があります。

したがって、お申し込みにあたってはその点についても十分ご留意下さい。また、諸事情等による申込不可日の変更は、販売会社に連絡いたしますので、お問い合わせ下さい。

なお、弊社ホームページ (<http://www.nomura-am.co.jp/>) にも掲載いたしております。